

リモート 吹張自主防災訓練

LINEを活用して連絡を確認！！

清秋の候、町内の皆様には日頃より自主防災にご理解とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

さて、吹張自主防災訓練は毎年10月に開催してまいりましたが、今年も下記に執り行います。コロナ禍の中ではありますが、いざという時に身の安全を確保する行動ができるためには、日頃より繰り返し続けて訓練して行くことが大切です。今後も 毎年10月を吹張自主防災の月とし、この機会に防災について見つめ直して頂き、皆様方の意識高揚に役立てて頂ければと思っております。

つきましては、焚き火台にて、火だねから火をおこす講習や、直火でお湯を沸かし直接コーヒーを入れる方法などの講習を行いたいと思います。また、防災食の作り方など、3密をさけ、マスク着用にて、ご参加ご協力くださいますよう御案内申し上げます。

記

と き：10月30日（土）

午前10時から正午まで

ところ：吹張全域 第1、第2、第3



① 「午前10時地震による土砂災害が発生」

- ・町内全域断水となった。

② 「第3一時避難場所（奥山印刷所駐車場）へ本部を置く」

- ・防災会会員は配布された役割班のネームプレートをつける（マスク着用）

③ 「緊急連絡網の伝達確認」 LINE 「吹張町内会」に告知

●緊急連絡網の伝達確認訓練 活動：隊長、副隊長、情報班

- ・隊長（奥山忠平）は第3一時避難場所に垂れ幕を掲げ本部を置き副隊長（奥山純一）に指示
- ・副隊長（奥山純一）は情報班班長（渡部均）と給食給水班班長（下山勉）へ指示
- ・情報班（渡部均）は情報班（熊谷隆）避難誘導班（佐々木利雄）に指示（熊谷隆）は情報班（皆川定美）救出救護班（杉山政介）に指示（皆川定美）は消火班（岩崎一哉）に指示

救出救護班と避難誘導班に住民の安否確認を旗とチェックシートにより報告させ副隊長（奥山純一）に報告する。

- ・副隊長（奥山純一）は状況を隊長（奥山忠平）に報告する。

④ 「安否確認」

「住民は各家々に待機、玄関先に旗を掲げる」

各世帯では身の安全、家族の安全を確認、火の始末、家屋まわりの状況を確認。事前に配布した安全であるという意味の町内指定

■ 黄色い旗を玄関先に掲げる。

■ ピンクの旗は援助が必要（事前に救助要宅を指定依頼）

● 安否確認訓練 活動：救出救護班、避難誘導班

・情報班 救出救護班と避難誘導班よりチェックシートにより安否確認報告を受ける
ピンクの旗を掲げていたお宅の援助要請に対応する。

・隊長、副隊長（奥山忠平、奥山純一）

各安否確認報告を情報班より受ける <隊長あいさつ3密を避け焚き火台を設置させる>

・救出救護班（杉山政介、海野哲也、内藤祐希、佐々木哲也、藤崎知哉、宮越親彦）と

・避難誘導班（佐々木利雄、内藤勇、松本享）

玄関先に旗が無いお宅やピンクの旗を掲げているお宅は訪問し状況を確認対応する。

チェックシートにより安否確認をし本部に集合し情報班へ報告する。

⑤ 災害時の技術・知識を身につけよう

「火おこし」色々な着火の仕方を身につけよう

● 火おこし訓練 活動：第一部消防団、消火班、情報班

「日本キャンプ協会所属次田吉明氏による火おこし」講習。薪を火だねから火をおこす実践訓練。給食給水班のろ過した水でお湯を沸かす。

・消火班（岩崎一哉、次田吉明、佐藤誠、草薨寿貴、石山淳一）

第3一時避難場所（本部）に集合、焚き火台等炊き出しの前準備

火おこし訓練は薪を割ることからフェザースティックの作り方、チャークロスに火打ち石による着火、ファイヤースターターによる着火等、火のおこし方を勉強実践。

薪、斧、ナイフ、火打ち石、麻縄、チャークロス、ファイヤースターター、火吹き筒等準備



「炊き出し用水の確保」何も使わないおいしいコーヒーの淹れ方

● 水くみ、炊き出し訓練 活動：給食給水班、情報班

水を確保、ろ過する。

「ポットだけで作るレンメルコーヒーの作り方」

講習 講師：下山 勉氏

・給食給水班（下山勉、寺尾博旨、藤崎知哉）

大関の水を汲み（バケツ、ロープ用意）ろ過し、消火班に渡す



⑥ 「防災食試食」

● 防災食にお湯を入れ各自試食し、意見交換。炊き出し終了

・焚き火台等撤収

自主防災訓練終了 解散

■ フッパリボウサイはPDFファイルにてホームページにもアップロードしています
<http://www.yuzawa.site/fuppari>



吹張町内での災害への備えを日頃より行うため、情報誌「Fuppari Bousai」（フッパリボウサイ）は「防災訓練」事業の開催の告知や報告等、防災の意識高揚を目的として発行いたします。

編集企画：奥山 忠平 携帯 09058303132